

索道事業安全報告書（2016年）



八方尾根ゴンドラリフト アダム

2015年8月1日～2016年7月31日

白馬観光開発株式会社

索道事業安全報告書は、当社における索道輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。本報告書をお読みいただき、ご意見・感想をお寄せください。

【白馬八方尾根スキー場】

八方尾根ゴンドラリフト・アルペンクワッドリフト・兔平ペアリフト
パノラマペアリフト・白樺第1ペアリフト・白樺第2ペアリフト
八方セントラルペアリフト・(休止中 白樺第3ペアリフト)

【白馬岩岳スノーフィールド】

ゴンドラ ノア・中央高速・3線ノース・4線イースト・5線サウス
ラインリフト・パラダイストリプル・らいペア
かも1・日影リフト・沢リフト
(休止中 岩岳ラインリフトB・6線・かも4)

【榎池高原スキー場】

からまつ高速ペアリフト・しらかばクワッドリフト・ハンの木第1クワッドリフト
ハンの木第2ペアリフト・ハンの木第3クワッドリフト
ハンの木高速ペアリフト・つが第2ペアリフト
(休止中 ハンの木第4リフト)

1. ご利用のお客様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。皆さまが当社に寄せる「信頼」の源泉は「安全」と「安心」であるということを常に認識し日々地道に努力しております。鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために索道安全報告書を公表いたします。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

八方尾根・白馬岩岳・榎池高原スキー場
白馬観光開発株式会社
代表取締役社長 高梨 光

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規定をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の遂行に努め、疑義のある時は、「安全は全てに優先する」として最も安全と思われる取り扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行う。

(2) 安全目標

今年度、索道運転事故及び乗降場での事故発生件数は1件でした、今後、事故発生件数0にするため改めて安全基本方針を基に安全・安心な索道運行に努めて参ります。

2015年8月～2016年7月 索道輸送安全目標は次のとおりです。

(1) 索道事故発生件数をゼロ(0)とする。

(2) 係員の起因としての乗降場での事故発生件数をゼロ(0)とする。

従業員教育、過去の索道事故事例、ヒヤリ・ハットの活用、学ぶことにより事故防止に努める。

3. 事故等の発生状況と運休状況

(1) 索道運転事故(索道人身障害事故)

平成28年1月9日梅池ハンの木第1クワッドリフトにおいて、押送装置の作動タイヤ故障により押送チェーンの爪に掛からず停滞していた搬器に後続のお客様が挟まれるのを回避するためストップで前の搬器を押していた際にスキーを雪面に取られ右足を負傷する事故が発生しました。

負傷されたお客様には深くお詫び申し上げます。

今後、二度と同じ事故が発生しないよう従業員配置の見直し、従業員教育の徹底を行います。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

災害による運行停止はありません。

(3) インシデント(事故の兆候)

本年度、国土交通省への報告はありません。

(4) 行政指導等

本年度、国土交通省からの指導はありません。

4. 索道輸送の安全確保に関する当社の取組み

(1) 索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修および、シーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や様々な事故事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。また、シーズン中においても定期的なミーティングを行うとともに、トラブルやヒヤリ・ハット事例を常時収集・共有し対策を講じています。また、他スキー場も含めた事故・トラブル事例も速やかに水平展開し注意喚起と安全向上に努めています。



索道技術管理者研修報告会

(2) 従業員教育

社員教育として毎月、安全及び技術的な講習会を行い日々の安全管理、技術の伝承を行っております。

グループ会社の取組み

日本スキー場開発(株)グループ会社合同で定期的にミーティングを行い、事故・トラブルヒヤリ・ハットの事例や対策、技術情報の共有を行うとともに、相互で内部監査を行い、安全性の更なる向上に努めております。又秋には合同整備を開催致し、グループ全体での技術の向上、各社安全対策についての報告会を行っております。

(3) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、各所従業員一同にて救助訓練を実施しています。また、予備原動装置を備えた索道ではこれを活用した訓練を実施しています。



岩岳ゴンドラ救助訓練

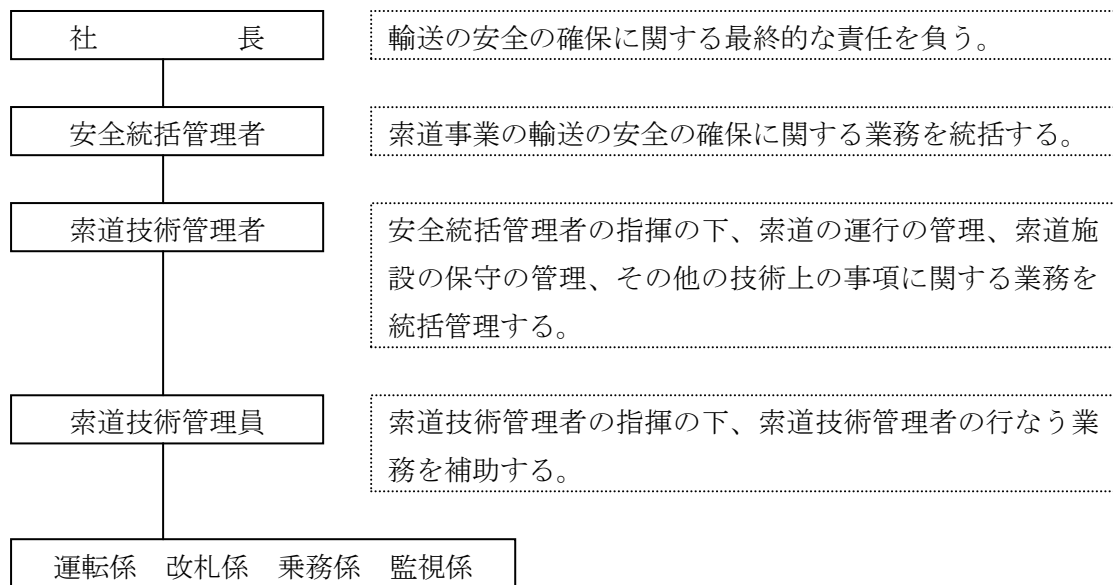
5. 索道保安設備の維持管理・改修

安全のための投資と支出

安全の維持向上のため、整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。本年度は、減速機、電動機、支索切詰、ゴンドラリフト・高速リフト系の握索機等のオーバーホール及び、線路部品等の交換工事を実施しました。

6. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
また、危険予知を導入し、日々の業務に反映させております。



役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

7. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにしています

場内にお客様の声を聞かせただけのご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせて頂いております。ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。また、当スキー場ホームページでもお待ちしております。

(2) 注意事項とお願い

スキー・スノーボード、登山等はもともと大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外、登山道の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、自然災害に巻き込まれないよう十分注意してください。

また、林道等一部狭い箇所もありますので注意して滑走してください。

当スキー場では、事故を無くすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずお客様の注意深い行動であることを忘れないでください。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
2. 急斜面、凸凹、地形にご注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態にご注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突にご注意願います。

5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従ってください。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村大字北城 12111

白馬観光開発株式会社

TEL 0261-72-3150 FAX 0261-72-4742

E-mail info@nsd-hakuba.jp